

【週刊タバコの正体】

Vol.47 第2話～第6話

2020年9月

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 47

(No. 634) 第2話 タバコ税って？

ー10月からタバコ税が値上げされ一箱あたりの税額は300円に...

一旦、タバコを吸い始めるとニコチン依存症になってしまい、何十年も毎日吸い続けることになってしまいます。そんな喫煙者は全国に1880万人いると推定されているので、毎日、膨大な数のタバコが販売されているのですが、その価格には普通の商品とは違うものが含まれています。

(No. 635) 第3話 一利なし

ー国も自治体もタバコ税という「ニコチン依存症」...

全国に1880万人いると推定されている喫煙者が、一年間でどれだけのタバコを消費していると思いますか。(一社)日本たばこ協会の発表によると平成29年度のタバコの販売本数は約1500億本、金額にすると約3兆円となっています。タバコの値段の約60%は税金なので、下図のグラフのように3兆円のうち約2兆円は税金として国や地方の財源となります。

(No. 636) 第4話 たばこ事業法を考える

ータバコも経済優先から健康安全優先の時代に...

日本にはタバコに関する二つの法律があります。厚生労働省が管轄する「健康増進法」と財務省が管轄する「たばこ事業法」です。

健康増進法は、文字通り国民保健の向上をめざすために、受動喫煙防止に關する措置を掲げているのに対し、たばこ事業法は、国民の健康には触れず、たばこ産業の発展と財政収入の安定を目的としており、そのために政府が日本たばこ産業(株)の株式を保有することになっています。

(No. 637) 第5話 世界標準

ーFCTCの発効から15年。タバコの正体創刊も同一年...

タバコに関する法律(「健康増進法」と「たばこ事業法」)について、すでに紹介しましたね。国民の健康を目的にしたものと、たばこ産業の発展を目的にしたものが存在するので、日本のタバコによる健康被害対策は簡単ではありません。そこで今回は、世界の国々はどうなっているのか紹介しましょう。

タバコが原因で死亡する人は世界中で毎年700万人いると推計されています。この状況を重くみたWHO(世界保健機関)はタバコの被害を抑えるため、2005年に「タバコ規制枠組条約(FCTC)」を制定しました。その主な内容は下のポスターのとおりで、タバコの使用を抑えるためにタバコ税を上げる、広告宣伝を禁止する、パッケージに警告画像を入れるなどが決められています。この国際条約を批准しじゅんしている日本を含め世界174カ国以上の国々は、これらの約束を守る義務があります。

(No. 638) 第6話 高い？安い

ー若者にはタバコに対する国際感覚と日本の違いを...

タバコの値段は高い？安い？

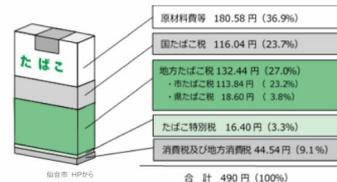
現在、日本のタバコの値段は一箱500円前後ですが、皆さんはどう感じますか。「高い」と思う人が多いのではないのでしょうか。

ところが、左図を見てください。世界のタバコの値段を並べたグラフ...

Serial number 634 第2話 週刊 タバコの正体

一旦、タバコを吸い始めるとニコチン依存症になってしまい、何十年も毎日吸い続けることになってしまいます。そんな喫煙者は全国に1880万人いると推定されているので、毎日、膨大な数のタバコが販売されているのですが、その価格には普通の商品とは違うものが含まれています。

タバコには嗜好品として下図に示すような税金が課せられている事を知っているでしょうか。例えば、和歌山市で490円のタバコを買ったと和歌山市に113.84円、和歌山県に18.6円、国に116.04円をたばこ税として納めていることとなります。それに加え、たばこ特別税と消費税を合わせた合計は309円にもなり、タバコの価格のなんと63%は税金になっています。つまりタバコが売れるたびにかなりの税金が国や自治体に入る仕組みになっているというわけです。



次に左下のグラフを見てください。そのタバコ税は2018年から2022年にかけて段階的に値上げされる事が決まっています。今年の10月にもタバコは値上げされます。



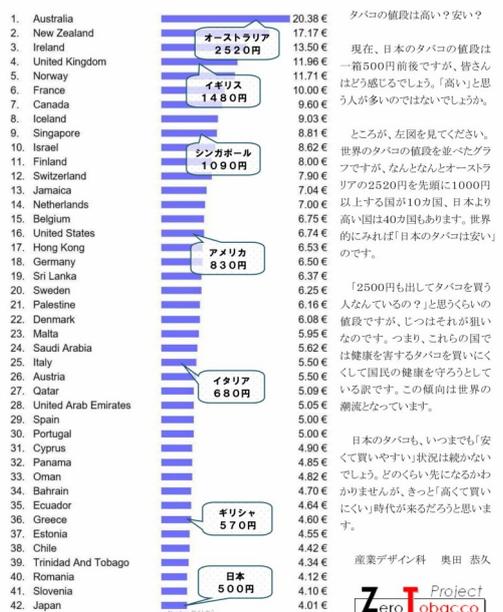
いかがでしょうか、一箱300円以上の税金を払って有害な煙を吸い続けるなんて、どう感じますか。

そして、人々の健康を損ねるタバコが売れると国が助かる、という仕組みも何だか、おかしい感じもしますよね。

産業デザイン科 奥田 恭久



Serial number 638 第6話 週刊 タバコの正体



タバコの値段は高い？安い？
現在、日本のタバコの値段は一箱500円前後ですが、皆さんはどう感じるでしょうか。「高い」と思っている人が多いのではないのでしょうか。

ところが、左図を見てください。世界のタバコの値段を並べたグラフですが、なんとなんとオーストラリアの2520円を先頭に1000円以上の国が10カ国、日本より高い国は40カ国もあります。世界的にみれば「日本のタバコは安い」のです。

「2500円も出してタバコを買う人なんているの？」と思うかもしれませんが、じつはそれが狙いなのです。つまり、これらの国では健康を害するタバコを買いにくくして国民の健康を守るうとしてる訳です。この傾向は世界の潮流となっています。

日本のタバコも、いつまでも「安く買ってやすう」状況は続かないでしょう。どのくらい先になるかわかりませんが、きっと「高く買っていい」時代が来るだろうと思います。

産業デザイン科 奥田 恭久



毎週火曜日発行



URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

